



# 西中学校だより

令和5年3月22日  
東久留米市立西中学校



## 第54回卒業式が無事終わりました

校長 藪野 勝久

今月17日（金）には第54回卒業式を挙行いたしました。3年生の保護者の皆様にはこの日を迎えられたこと、心よりお祝い申し上げます。

3年生の141名それぞれが、自分の進路を自分で切り拓き、新たな一步を踏み始めました。式辞では、はなむけの言葉として、「生きるということ」について話をし、3年生への最後の言葉といたしました。

最後になりましたが、全ての保護者の皆様には本校に対する深いご理解とご協力、誠にありがとうございました。生徒の更なる成長と西中学校の益々の発展に向けて今後も教職員一同努力してまいりますので、ご支援宜しくお願い致します。

式辞より・・・・・・（前段省略）

皆さんは「生きるということ」について考えたことがあるでしょうか。先日のダルク<sup>1</sup>の方々のお話を聞いて少しは考えてみた人もいるかもしれませんね。皆さんがこれから送る長い人生の中では、きっと生きるということについて考えることもあると思います。

ビクトール・フランクルという精神科医で心理学者がいました。彼は第二次世界大戦中、ユダヤ人であるという理由で4つの強制収容所に収監され、そこでは一日中、飢えや寒さの中、いつ終わることも知れない過酷な労働を強制的に強いられ、正に生き地獄の状況の中にあっても尚、生き延びることができた人です。そして彼は、人間の極限状態の中での体験と、生き延びるためのものの見方考え方を「夜と霧<sup>2</sup>」という本にまとめ、戦後、生きる意味を見失ってしまった世界中の人々に力強い勇気と希望を与えました。

私がここで話ししたいのは、戦争の話でもなければ強制収容所の悲惨な話でもありません。生きるということの意味のお話です。

今、世界では戦火に見舞われ、いつ終わるとも知れぬ恐怖や苦しみの中にいる人たちもいます。また、今後30年以内に起こる可能性が大きいと言われていた南海トラフ地震では、日本全体が生活困難に陥ることもあるかも知れません。こうした時、感染症拡大で日本中の人達が体験したように、出口が見えず、いつ迄この状況が続くか分からないといった危機が訪れるかも知れません。

苦しさや辛さは、これがいつ終わるか分かってさえいれば、人間は我慢ができるものです。しかし、いつ終わるか分からない苦しさ・辛さは、どんな人間

にとっても何よりも耐えがたいことであり、人生を諦める人もいるかも知れません。これを乗り越えるためにはどうすればいいのか、フランクは考えました。未来ある「人生の目的」が必要なのだ、と。つまり何のために生きているのか、この何のためにという「目的」が諦めない唯一の心の支えだと考えたのです。

皆さんにも、きれいな合唱のハーモニーをつくるために頑張れたとか、或いは辛い思いをしている人のために頑張れたなど、人生を左右するほどのことではないかも知れませんが、こうした経験が少しはあるのではないのでしょうか。みんなのために、辛い思いをしている人のためにと言う、「何のために」という目的意識は人を頑張らせる原動力になります。フランクはある哲学者<sup>3</sup>の言葉を引用して次のような趣旨のことを言っています。人生の目的さえあればどんなことにも耐え、どんなことをしてでも目的のために前に進める、と。

しかし、一旦心が折れてしまった人間に目的意識をもちなさいと言っても「はいそうですか」と、そう簡単にはもてません。どんなに励まされてもどんなに慰められても、がんばり通す意義すらなくなってしまう、やがて諦めてしまうのです。そんなとき、どう考えるべきか、フランクは私たちに、考え方を180°方向転換しなさいと言います。

人生に期待できることはあるのだろうか、とか、この先どんな人生が自分を待っているのだろうか、といった「我々が人生の意味を問う」のではなく、「人生が我々自身に問を投げかけている」、つまり、私たちが人生から「さあどうする」と、問われ、期待される存在なのだと、考え方を方向転換させなさいと言うことです。

「どうする家康」というNHKの大河ドラマがあり、優柔不断な若き家康として描かれているようですが、常に人生から「どうする」と問われて「どうにかする」、人生に対して積極的に答えようとする姿が描かれているように思えます。

同様に、人生は皆さんに対しても、毎日毎時間、様々な問いを投げかけてきます。例えば、誰誰さんと喧嘩をしたとか、希望する進路に進めなかったとか、「さあどうする」とその都度その都度、人生が皆さんに問いかけてきているのです。そして私たちはその度にこの問いに対して、正しい責任ある行動によって応える、それが生きると言うこと、「生きると言うことは自分に課せられた使命に対し責任をもって全うすることなのだ。」とフランクは言っています。

もしこれから生きていく中で、皆さんが乗り越えるべき苦しみや辛さに出会ったならば、その時、それは人生から与えられた問、「さあどうする」と問われているのだと捉えてみてください。

私たちは自分以外の誰かの苦しみや辛さを代わりに背負うことはできません。その運命を授かった本人だけがこれを背負い、担わなければならないのです。しかしその苦しみや辛さの中にこそ、これらを乗り越えるチャンスが有り、これを乗り越えることで、それがあなただけの業績となるのです。それはまた、あなただけにしか達成できない業績なのです。フランクはこの考え

方が我々人類を絶望させない唯一の思想だった、と言っています<sup>4</sup>。これは辛さ苦しさを乗り越えるためだけの考え方ではなく、様々な出来事における人生の捉え方であって、人生全般に対して言えることだと思います。

もう一つ彼は大切なことを教えてくれています。それは、将来、あなたを待っている存在があるということです。待っている存在とは人でも出来事でも仕事でも何でも良いのです。そしてその待っている存在に対して、あなたには責任があるということです。

例えば入試前の自分をそっと覗いてみてください。今のあなたはその時のあなたに何と声を掛けますか、考えてみてください。厳しく叱咤激励しますか。でも、気持ちは応援しているはずです。期待しているはずです。だから、その時のあなたには、その気持ちに対して応える責任があったのではないのでしょうか。

待っているのは将来の自分だけではありません。将来あなたにはあなたの助けを待っている人や結婚を約束する人がいるかも知れません。世の中に大きな影響を与える仕事があるかも知れません。そんな、未来で待っている存在が、期待しながら笑顔で手招きをして待っている、だからこそ、その未来の存在に対して、今のあなたにはその未来の存在に応える責任があるのです。

「それは目標をもって頑張れということですか」という人がいるかもしれませんが、それは違います。未来の自分のために、将来あなたを待っている人達のために、待っている存在のためにという目的の問題であり、目標とは異なります。目的とは、何のためにという問いに対する答えです。また、目的には責任ある行動が伴います。例えば皆さんの保護者は、皆さんを育てるため、という目的のために様々な責任ある行動をとってきました。人生から「さあどうする」と問を投げかけられたことが数えきれないくらいあった事でしょう。ですから、今日の日を迎えられるのは、保護者の皆さんの責任ある子育ての結果であり、目標の結果ではありません。

皆さんにはせっかく頂いた命を全うするという責任、親から託された期待に対する責任、まだ見ぬあなたを待っている人に対する責任、自分では気付いていないけど正に今皆さんを頼りにしている人に対する責任等、様々な責任があり、それを懸命に果たす、その責務があるのです。

これで私が皆さんに贈る言葉は終わりです。

これから歩む人生の中で刻々と出会う様々な出来事に対して「どうする」と人生から問われているのだ、と考えること、そして、未来であなたを待っている存在のために、今、その責任を全うすること、これが生きるということなのだ、と言うお話をしました。いつかある日、このお話を思い出していただければ幸いです。「良き社会人」としてのご活躍を願っています。

(後段省略)

令和五年 三月十七日

東久留米市立 西中学校 校長 藪野勝久

- <sup>1</sup> DARC Drug (薬物) Addiction (病的依存) Rehabilitation (回復) Center (施設) を組み合わせた造語で、覚せい剤、危険ドラッグその他の薬物から解放させるためのプログラムにより中毒者を救おうとする団体。当日2人の方にお越しいただき自身の体験をお話しして下さった。
- <sup>2</sup> 「夜と霧 フランクル著作集I(霜山徳爾 訳)」と「夜と霧 新版(池田香代子 訳)の両本から引用或いは参照しました。
- <sup>3</sup> ニーチェ 「なぜ生きるかを知っている者は、どのように生きることにも耐える。」(池田香代子 訳)
- <sup>4</sup> 「何人も彼の代わりに苦しみ抜くことはできないのである。まさにその運命に当たった彼自身がこの苦悩を担うということの中に独自の業績に対するただ一度の可能性が存在するのである。」(霜山徳爾 訳)

## お世話になりました (退職・昇任・転出された先生方)

退職	藪野 勝久	校長	技術
	川上 昌洋	主任教諭	理科
	永瀬 明男	主任教諭	けやき (特別支援)
	薄葉 順	主任教諭	数学
	小堀 朋秋	非常勤教員	国語
	小林 朝実	専門員	けやき (特別支援)
	堀江 まり	介助員	I組
	畠中 みゆき	介助員	I組
	田代 亜希	スクールカウンセラー	
	鮎田 奈都美	学カパワーアップサポーター	
昇任	渡邊 俊雄	主幹教諭	数学
	松谷 静香	主幹教諭	社会
	高田 智行	主幹教諭	I組 (数学)
	小柳津 智子	主幹教諭	音楽
	佐伯 豊明	主幹教諭	保健体育
	小島 雄一	主幹教諭	保健体育
転出	中村 大樹	教諭	英語



保護者の皆様、地域の皆様、関係機関の皆様、1年間本校の教育活動へのご理解とご支援を誠にありがとうございました。おかげさまで、生徒たちは大きく成長いたしました。感謝いたします。来年度もどうかよろしく願いいたします。